

経済的困難を抱える子どもの 学び支援活動助成

複雑化する子どもの課題に対して、
中長期視点で取り組む団体を応援します。

最大
3年間
900万円

地域によって多様な子どもの課題に対し、支援を持続可能なものにしていくためには、担い手団体の事業基盤の強化や新たな事業へのチャレンジなど、中長期的な視点が必要と考えています。

最大3か年の支援を通して、中長期の視点を持った自立的な事業継続・発展を目指す団体を応援します。

活動テーマ例

- 中学卒業後に支援が途切れて高校中退する子をなくすため、高校生向け学習支援をはじめたい！
- 外国につながるのある子どもたちが学べる居場所を地域に作りたい！
- 助成金に頼らずに事業が継続できるよう、人材育成や資金調達の仕組みを構築したい！

3か年の活動イメージ



生活困窮家庭の小・中学生向けの学習支援をしてきたけど、高校進学後に中退する子が多い。地域の支援が途切れてしまうことで、子どもが再び経済的な理由で学びをあきらめてしまうのは残念。地域の子どもの支援機関と連携して、高校生年代のセーフティーネットをつくりたい。

1年目

〈高校生向けにオンライン学習支援プログラムを開発・人材を育成〉

高校生向けに、オンライン学習プログラムを開発。マニュアルを整備して、支援者向け研修を実施したい。

2年目

〈高校生年代の居場所を提供〉

高校生年代の居場所を立ち上げ、中退や引きこもりの防止に向けて、地域内の子ども支援機関とつながり、ネットワーク協議会を作りたい。

3年目

〈地域内のセーフティーネットを構築〉

高校中退率が減少したなどの成果を地域の関係機関と連携し、高校生年代の自立支援、社会参加を支援するセーフティーネットを構築したい。

募集期間

2022年11月7日(月)～2023年1月5日(木) * 必着

2023年度 経済的困難を抱える子どもの学び支援活動助成


応募要項、申請書フォーマット、個別相談会の実施方法など、詳細は当財団サイトの助成ページをご確認ください。
申請書の記入方法の説明動画もご覧いただけます。

<https://benesse-kodomokikin.or.jp/subsidy/>



内 容	<p>日本全国の地域において、経済的な困難を抱える子どもたちを取り巻く社会課題はますます多様化・複雑化しています。それらの課題解決に取り組む団体に対して、<u>自立的な事業継続や新たな事業へのチャレンジに中長期で取り組む事業(団体)</u>に、複数年(最大3か年)の助成を行います。</p> <p>※「経済的困難」には、さまざまな要因で生じる経済的な困窮に付随する子どもの複合的な困難も含まれます。 ※「現在の事業の自立的な継続・発展のための取り組み」もしくは「新たな事業の立ち上げ」のいずれかを助成します。</p> <p>現在の事業の自立的な継続・発展のための取り組みは、テーマを明確にした計画を立案いただきます。(複数テーマについての取り組み可)</p> <table border="1" data-bbox="304 566 1465 981"><thead><tr><th>テーマ</th><th>取り組み(例)</th></tr></thead><tbody><tr><td>①子ども支援活動の質向上</td><td>・ 専門家を招いての人材研修 ・ 教材・プログラム開発</td></tr><tr><td>②子ども支援活動の普及・拡大</td><td>・ 学び支援プログラムの普及活動 ・ 他地域への拠点展開</td></tr><tr><td>③ネットワーク構築・政策提言</td><td>・ 地域の関係機関とのネットワーク強化 ・ エビデンスを基にした政策提言</td></tr><tr><td>④事業基盤の強化・業務改善</td><td>・ 資金調達のための仕組みづくり ・ スタッフ間の情報共有ツールの整備</td></tr><tr><td>⑤その他のテーマ</td><td>①～④にあてはまらないテーマ</td></tr></tbody></table>	テーマ	取り組み(例)	①子ども支援活動の質向上	・ 専門家を招いての人材研修 ・ 教材・プログラム開発	②子ども支援活動の普及・拡大	・ 学び支援プログラムの普及活動 ・ 他地域への拠点展開	③ネットワーク構築・政策提言	・ 地域の関係機関とのネットワーク強化 ・ エビデンスを基にした政策提言	④事業基盤の強化・業務改善	・ 資金調達のための仕組みづくり ・ スタッフ間の情報共有ツールの整備	⑤その他のテーマ	①～④にあてはまらないテーマ
テーマ	取り組み(例)												
①子ども支援活動の質向上	・ 専門家を招いての人材研修 ・ 教材・プログラム開発												
②子ども支援活動の普及・拡大	・ 学び支援プログラムの普及活動 ・ 他地域への拠点展開												
③ネットワーク構築・政策提言	・ 地域の関係機関とのネットワーク強化 ・ エビデンスを基にした政策提言												
④事業基盤の強化・業務改善	・ 資金調達のための仕組みづくり ・ スタッフ間の情報共有ツールの整備												
⑤その他のテーマ	①～④にあてはまらないテーマ												
助成対象団体	<ul style="list-style-type: none">● 上記助成テーマで活動を行っている非営利団体 (特定非営利活動法人(NPO)、財団法人、社団法人、社会福祉法人など)● 「助成決定後の義務・条件」に同意いただける団体 ※法人格が無くても申請可能ですが、個人名義の口座への助成金の振り込みはできません。 ※原則として営利団体への助成は行いません。												
対象活動期間	2023年4月1日から2026年3月31日まで(最大3年間)												
助成金額	1件あたり、最大3か年で総額900万円以内 ※助成金額は、年度ごとに、申請された事業計画・予算を審査の上決定します。 ※収入見込みに自治体の補助金や他の公共法人等の助成金が含まれていても応募できます。												
応募方法	当財団ホームページ(https://benesse-kodomokikin.or.jp/subsidy/)のフォーマットに、必要事項を記載のうえ、以下の方法でお送りください。 <ul style="list-style-type: none">・メールの場合：kodomokikin@grop.co.jp・郵送の場合：〒277-0831 千葉県柏市根戸 206-3 北柏ビル 2F (株)グロップ内 ベネッセこども基金助成事務局												
問い合わせ先	<p>TEL : 04-7137-2570 ※月～金 10:00～17:00 ※祝日、2022年12月27日～2023年1月4日を除く ※通話中などによりつながりにくい場合がございます。あらかじめご了承ください。</p> <p>● 個別相談会 申請書の具体的な記載方法などオンラインによる個別相談会を承っております。 期間 2022年12月12日(月)～12月23日(金) 月～金 10:00～17:00</p> <p>● オンライン説明会 2022年12月7日(水) 申請を検討されている団体様向けに、助成主旨・申請書のポイント解説や質問にお答えします。 詳細は当財団サイトの助成ページ (https://benesse-kodomokikin.or.jp/subsidy/) をご覧ください</p>												

ベネッセこども基金は、「未来ある子どもたちが安心して自らの可能性を広げられる社会」の実現を目的として、2014年10月31日にベネッセグループによって「一般財団法人ベネッセこども基金」として設立、2015年4月1日に公益財団法人に移行しました。当財団は、子どもたちが自ら学ぼう、伸びようとする力を十分に発揮できるよう、子どもたちを取り巻く社会的な課題の解決及び多様な学びの機会の提供に取り組めます。

 公益財団法人
ベネッセこども基金

所在地：〒206-8686 東京都多摩市落合 1-34
<https://benesse-kodomokikin.or.jp>

News Letter

特集：ベネッセこども基金活動～子どもの権利を考える～

2022年10月発行

いつもベネッセこども基金への温かいご支援、誠にありがとうございます。

当財団は「子どもが自らの可能性を広げられる社会」を目指し、困難な状況にいる子どもたちの学び支援活動助成と、様々な課題解決のトライアルとしての自主事業や社会発信を行っております。

2023年4月には「こども基本法」が施行されます。当財団でも、「子どもの権利」について理解を広める活動に取り組んでいきたいと考えています。今回は、当財団が助成している団体から、2つの団体の取り組みと、当財団での活動をご紹介します。



助成団体 活動紹介

子どもの声を中心に「チャームングケア研修」の実施

■一般社団法人チャームングケア

「チャームングケア研修」は、医療・教育・理美容・子どもアドボカシーの分野について専門家を交え学んでいく研修です。最大の特徴は、病気や障がいの経験や課題を、子ども自身が「子ども講師」として研修をすること。当事者の子どもたちが何を感じ何をしてほしいのかを語ることで、大人たちが気が付かなかった様々な課題が見えてきます。子どもたちの声を大切に活動です。

*「子どもアドボカシー」とは、子どもの声を聴き、子どもが意見を表明することを支援する活動です。



代表 石嶋瑞穂さん

「チャームングケア」は、病児や障がい児に「可愛い」や「かっこいい」を届け、子どもたちと家族の豊かな生活文化の実現を目指しています。



外国につながる子どもたちに向けた無料日本語教室「地球っ子教室」運営

■認定特定非営利活動法人 地球学校

学校の授業がわからなかったり、日本語がわからないことで自信を失ってしまったりという問題を抱えた外国ルーツの子どもたちが、自分らしく生活できることを願い、言葉の壁を超えるための「地球っ子教室」を開催しています。日本に住む子どもたちが、国籍にかかわらず学ぶことができるよう活動を行っています。ベネッセこども基金からは、「オンライン指導のスキルアップと教材検討」事業の助成を受けています。



代表 丸山伊津紀さん

「地球学校」は、2001年から横浜を拠点にNPOとして活動をしています。さまざまな国のみなさんに、日本語学習を通じて、豊かな未来を描くための、多文化交流事業を行っています。



ベネッセこども基金のサイトでは、助成団体の活動を紹介しております。上記2団体や他の団体の活動についてはこちらからご覧ください。▶



ベネッセこども基金 検索
▶ 助成について
▶ 助成団体紹介

活動
TOPIC

障がいのあるなしにかかわらず、子どもの権利が守られるインクルーシブな社会へ
教育関係者と「障がい理解教育はどうあるべきか」検討会の実施

「よりよい社会づくりにつながる学び支援」の一環として、ベネッセこども基金では、社会にはさまざまな人がいるということを肯定的に体感する機会創出の支援、そして多様性を自然に尊重する日常をつくるための教育現場の在り方の検討を行っています。

この夏、「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」を主宰する一般社団法人ダイアログ・ジャパン・ソサエティ様の新しいソーシャルエンターテイメント「地図を持たないワタシ」の開催を支援し、それを題材としたワークショップを開催しました。

ワークショップには、インクルーシブ教育の実践に取り組む全国の5つの自治体、大阪府、大阪府箕面市、広島県、埼玉県戸田市、東京都狛江市から、教育関係者18名が参加。この体験からの気づきをどのように教育現場に持ち帰り実践するかなどを、熱く議論しました。



▲ワークショップの様子。
地域や立場を超えて、フラットに意見交換を行いました。



■ ダイアログ・イン・ザ・ダークの紹介 ■

1988年、ドイツの哲学博士アンドレアス・ハイネッケの発案によって生まれました。これまで世界50カ国以上で開催され、900万人を超える人々が体験。暗闇での体験を通して、人と人のかかわりや対話の大切さ、五感の豊かさを感じる「ソーシャルエンターテイメント」です。詳しくは「ダイアログ・ダイバーシティミュージアム『対話の森』」をチェック！

この活動は一般社団法人UNIVAとの共同実施により開催しました。

詳しい活動報告は
こちらから▶



お知らせ

子どもの権利について考える
「ベネッセこども基金 MeetUp」開催

子どもたちを取り巻く社会課題を発信し、多様な関わりを増やし、解決策について一緒に考えていくイベントを定期的に行っています。今年度は11月、2月の2回連続で「子どもの権利」について取り上げます。

MeetUpの
詳細は
こちらから

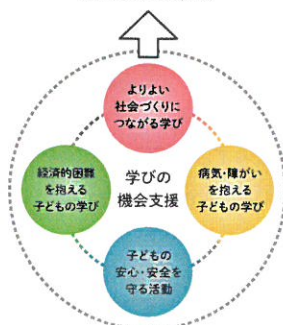


ベネッセこども基金 MeetUp 2022 #1
子どもの声を聴くってどういうこと？
子どもの権利と子どもアドボカシー
2022.11.19(土)16:00-17:45
オンライン・参加無料

「こどもの権利」や「こどもの声を聴く」という言葉をよく聞くようになりました。11月19日に行うMeetUp#1では、子どもの声を聴くことがなぜ必要なのか、どのように子どもに聴くとよいのか、国内外の具体的な事例をもとに、参加者の皆さまと一緒に学べたらと思います。

※MeetUpのスケジュールや内容は予定のため、変更になる可能性があります。

子どもが自らの可能性を
広げられる社会



団体概要

未来ある子どもたちが安心して学習に取り組める環境のもとで、自ら可能性を広げられる社会を目指し、子どもたちを取り巻く社会的な課題の解決および多様な学びの機会の提供に取り組む

名称：公益財団法人ベネッセこども基金
(Benesse Foundation for Children)
代表者：理事長 五十嵐 隆
所在地：〒206-8686 東京都多摩市落合 1-34
電話：042-357-3659
設立：2014年(平成26年)10月31日
※公益財団法人移行日：2015年(平成27年)4月1日

公益財団法人ベネッセ
こども基金の情報発信は
こちらからチェック！

WEB サイト



Facebook



Youtube
チャンネル



note

